

花はな



令和4年度 本田小学校学校だより
学校評価について 令和5年2月16日
 TEL 058-326-3417 FAX 326-7752
 本田小HP <http://edu-mizuho.com/honden>

後期学校評価についての報告

向春の候、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様には、後期の学校評価をお願いし、372名（88.8%）という前期を上回る保護者の皆様方から回答をいただくことができました。ありがとうございました。

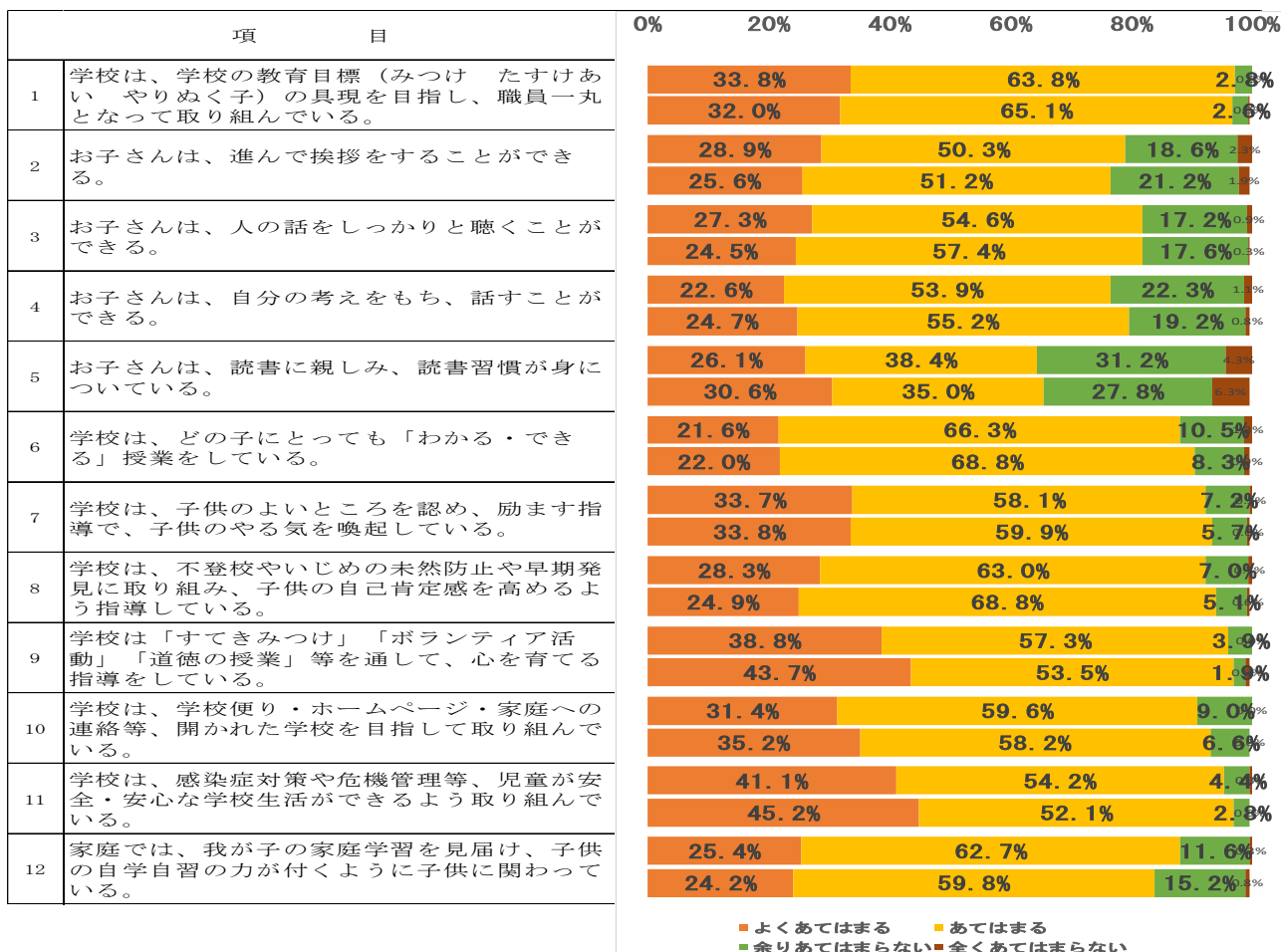
学校の指導に対して、温かいご意見やご指摘等をいただき大変ありがとうございました。また、保護者の皆様の温かい励ましのお言葉に、今後も、子供の言葉に声を傾けながら教育活動を進めていこうと思っているところです。

以下に、数値結果と、記入していただいたご意見を中心に、現在の学校の取り組みや今後の指導について説明します。この結果を生かし、今後も、「保護者や地域の皆様方と共に、全職員で取り組んでまいります。



本校の取組について

数値結果（数値は%）



今回の学校評価では、「子供のことを褒めてくださったり子供の話を聞いてくださったりしてうれしい」、「子供が毎日学校が楽しいと元気に登校する姿を見て、担任の先生を始めとするたくさんの先生方が、子供を温かく見守ってくれるおかげだいつも感謝している」「先生方が、子供に寄り添ってくださると思うと安心して学校に通わせることができます」といったうれしいお言葉を多くいただきました。先生や学校が、子供を伸ばし育むために行っている指導や支援、取り組み等に対し、「よく当てはまる」「当てはまる」と答えた保護者の割合が、95%を超えました。また、「心を育てる指導や学校便り・ホームページ・家庭への連絡」等、「開かれた学校を目指している」「児童が安全・安心な学校生活を送れるよう取り組んでいる」など、多くの項目で「よく当てはまる」「当てはまる」と答えた保護者の割合が、前期に比べて増えました。「読書習慣が身についている」ことに関しても、全校で委員会活動を活用したりPTAによるファミリー読書の取り組みを進めていただいたりして、わずかではありますが伸びました。一方で、子供が、進んで挨拶できると感じている保護者の割合は、むしろ下がっている状況です。

今後も、「挨拶」や「読書」も、重点的に継続して指導を進めますが、地域の皆様や保護者の方のご協力やご支援をいただきますようお願いいたします。



《全体から》

- ・「家庭では体験できないことを学校で実施してもらい大変ありがたく思っている」というご意見をいただきました。今年度は、コロナ禍であっても感染状況を見ながらそれぞれの学年で様々な校外学習や体験活動を実施することができました。実際に体験したり実物を見たりしながら考え深めていく活動は、子供たちの知的好奇心を広げ、学ぶ意欲をさらに高めることにつながったと思っています。

《学習にかかわって》

- ・「子供が休まざるをえなかったときに、TEAMSで授業を受けることができ、学習に遅れることがなくて安心した」とのご意見をいただきました。すべての教科では難しいですが、算数などを中心にTEAMSを活用したオンライン授業も数多く実施し、子供たちの学びをつなぐできています。
- ・「漢字ドリルや計算のドリル学習などの2回目を宿題にしてほしい。自主学習に任せると2回目をやり切ることが難しい」「漢字ドリルや算数の練習など、2回目も宿題という形で出してほしい。高学年になり、自分で考えて勉強に取り組むことも大事だと思うが、勉強が好きでない子はやらない」といったご意見をいただきました。学校では、低学年は毎日決められた宿題を確実にやり切ることで学習の習慣づけにつながるよう進めています。しかし、学年が進むにつれて「自分で考えてやるべき学習を進める」という学び方ができるようになることが大切だと考えています。「何年生になったから自主学習」で、「高学年になったから自分で考えて」というように学年ごとに決めるのではなく、徐々に自分で考えて学習内容を決めて学ぶことができるような指導や一人一人のお子さんの実態に合わせて対応することも必要であると考えます。学校としても更によりよい方法を考えていきます。

《生活にかかわって》

- ・「学校内ではいつもしっかり挨拶しているよと子供からは聞いているのですが、朝、登校班で顔を合わせても子供同士で挨拶がないのが気になります。明るく挨拶ができる雰囲気になるとよい」というご意見をいただきました。学校では、6年生を中心に始まった「全校の学級を回って挨拶をする」活動が全校に広がり、毎朝大きな明るい挨拶の音が響いています。学校評価の中でも、「進んで挨拶をする」という項目は、「よく当てはまる」「当てはまる」と答えた保護者の割合が、あまり良い結果ではありません。今後もいつでも誰に対しても進んで挨拶ができるように、「挨拶する」ことの意義を確認しながら、「挨拶する」ことの心地良さを味わわせ、指導を進めていきますので、ご家庭や地域の方々と共に子供たちを育ていければと願っております。どうぞよろしく願いいたします。

学校は、保護者や地域の皆様のご意見を受け止め、子供たちを支え、力を付け伸ばすよう今後も学校の教育活動で進めていきます。よろしく願いいたします。

